

7-5 報酬・積算体系特別委員会

1. 委員会の概要

(1) 活動目的

「調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会」において、品質確保、入札・契約制度等の個別テーマが設定されていることから、個別テーマ毎での対応を検討する。

また、改正品確法を受け、担い手の育成・確保の観点から魅力ある建設コンサルタントに向けて、業務環境・業務執行・積算・コスト上の課題に対して、様々な視点から分析・評価を行い、具体の対応策を検討する。

これらの検討結果を基に、協会としての統一見解をもって、国土交通省と協議を行っていくための検討を行う。

(2) 委員の構成

上記のように検討が多岐に渡ること、「要望と提案」と密接に関係することを踏まえ、直接関連する委員会委員長または副委員長、専門委員会委員長を委員としている。

2. 主な活動報告

(1) 委員会の開催

委員会開催：2回

- ① 第1回（平成28年12月14日）
- ② 第2回（平成29年4月12日）

(2) 検討内容

a) 企業経営の安定と処遇改善に向けての報酬積算体系の課題検討

- ① 技術者単価向上に伴うプロポーザル受注額・利益率に関する検討について
- ② 実態に即した歩掛・積算体系（調査基準価格の引き上げ含む）への改善に関する検討について

b) 生産性向上と就業環境の改善に向けての報酬積算・コスト上の課題検討

- ① 必要工期確保・納期平準化による生産コスト（時間外労働実態等）に関する検討について

- ② 設計変更における適用落札率の適正化に関する検討について

c) 対外活動委員会との連携による平成29年度「要望と提案」【付属資料】の充実化に向けての検討

上記a)、b)の検討事項等の「要望と提案」【付属資料】、及び、「建設コンサルタント白書」への反映について対外活動委員会と調整した。

d) 調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会への対応

懇談会への対応として、次の個別テーマにおけるコンサルタントとしての主張・要望事項に関する検討を行った。

- ① 調査・設計等業務等に関する入札・契約の実施状況について
- ② 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について
- ③ 技術者評価を重視した選定について
- ④ 設計成果の品質確保について

3. 次年度の活動について

次年度も、今年度の活動を継続実施する。

（報酬・積算体系特別委員会委員長

野崎 秀則）